



②指摘のとおり受け止めており、

③事実関係については、被害者の意向を最優先にしつつ、被害者から承諾された範囲の情報を区ホームページで公表する。

安全対策の現状や改善の方向性については、実態調査や相談窓口設置に向けた準備が整い次第、区ホームページで公表する。

④同様の事案が一度と繰り返されないよう、区として必要な対策を講じ、情報発信していかなければならぬと考えている。

ルールと仕組みで子どもを守れ

【問】共働き家庭の「小」の壁

問題解消に向けて、学校の開門時間を早め、用務員等による児童の見守りが検討されている。

外部人材の任用については、審査基準を統一し、子ども性暴力防止法の趣旨を先取りする方針があるのか、区の見解を伺う。

【教育指導】制度の指針となるガイドラインが示され次第、子どもの心身を守る規定を整備する等、安全基準の統一を進める。

【問】子どもの未来を築く情緒学級を

別支援教室を整備し、情緒面で支援を要する子どもを支えてきたが、定員超となる学校もあり、待機が生じている。

①情緒学級の設置を含む体制見直しのスケジュールを伺う。

【教育指導】①令和8年2月以降、特別支援教育検討委員会を

定期開催し、様々な意見を聴きながら自閉症・情緒障害特別支援学級の設置を含む体制見直しト出席制度は、活用が不十分である。学校間で差が生じないよう申請・認定フローの標準化を進め、保護者や児童・生徒への周知を徹底すべきではないか。

【教育指導】制度の活用促進へ

満たせば出席扱いとなる「ネット出席制度」は、活用が不十分である。学校間で差が生じないよう申請・認定フローの標準化を進め、保護者や児童・生徒への周知を徹底すべきではないか。

【問】自宅等での学習で要件を満たせば出席扱いとなる「ネット出席制度」は、活用が不十分である。学校間で差が生じないよう申請・認定フローの標準化を進め、保護者や児童・生徒への周知を徹底すべきではないか。

【教育指導】運用の標準化により上げるなど、設置可否の判断材料としていく。

【問】おくやみ手続きの負担軽減を

死亡時手続きの負担軽減のため、書かない窓口「ゆびナビ。ぶらす」で自動作成の対象を拡大し、おくやみ相談窓口で申請書作成手続きが完結できる範囲を広げるべきと思うがどうか。

【区長】「やりたいことが叶うまち」の実現に向け、区民の「やりたい」に寄り添い、活動を支援する立場は変わりない。

【区民】おくやみに関する手続きの申請書の自動作成対象を順次拡大していく。

また、相談窓口で完結できる手続きの範囲も広がるよう、令和7年度末までに府内調査を行い、実施に向け調整を進める。

【梅田図書館跡地活用の方針性は

梅田地域の多様なニーズに応えるため、当該跡地を子どもの第三の居場所や多世代交流機能をもつ複合拠点として整備する可能性について、区の考えを伺う。

【質産活用】梅田八丁目複合施設の進捗を注視しつつ、周辺の公共施設再配置を考慮して検討

が、議会や地域の意見を聴きながら、子どもの居場所や多世代拠点の整備も視野に進める。

の現状、今後の方向性をどうのよ

うな形で示すのか。

④最後に、子どもの安全に対する区の体質そのものが問われている問題とし、抜本的な見直しに踏み出す考えはあるのか伺う。

【地域】①捜査に支障が出ない

よう、区から発信は控えていた。

②指摘のとおり受け止めており、

早期に情報発信すべきであった。

③事実関係については、被害者の意向を最優先にしつつ、被害者から承諾された範囲の情報を区ホームページで公表する。

安全対策の現状や改善の方向性については、実態調査や相談窓口設置に向けた準備が整い次第、区ホームページで公表する。

④同様の事案が一度と繰り返されないよう、区として必要な対策を講じ、情報発信していかなければならぬと考えている。

【問】共働き家庭の「小」の壁

問題解消に向けて、学校の開門時間を早め、用務員等による児童の見守りが検討されている。

外部人材の任用については、審査基準を統一し、子ども性暴力防止法の趣旨を先取りする方針があるのか、区の見解を伺う。

【教育指導】制度の指針となるガイドラインが示され次第、子どもの心身を守る規定を整備する等、安全基準の統一を進める。

【問】子どもの未来を築く情緒学級を

別支援教室を整備し、情緒面で支援を要する子どもを支えてきたが、定員超となる学校もあり、待機が生じている。

①情緒学級の設置を含む体制見直しのスケジュールを伺う。

【教育指導】①令和8年2月以降、特別支援教育検討委員会を

定期開催し、様々な意見を聴きながら自閉症・情緒障害特別支援学級の設置を含む体制見直しト出席制度は、活用が不十分である。学校間で差が生じないよう申請・認定フローの標準化を進め、保護者や児童・生徒への周知を徹底すべきではないか。

【教育指導】運用の標準化により上げるなど、設置可否の判断材料としていく。

【問】おくやみ手続きの負担軽減を

死亡時手続きの負担軽減のため、書かない窓口「ゆびナビ。ぶらす」で自動作成の対象を拡大し、おくやみ相談窓口で申請書作成手続きが完結できる範囲を広げるべきと思うがどうか。

【区長】「やりたいことが叶うまち」の実現に向け、区民の「やりたい」に寄り添い、活動を支援する立場は変わりない。

【区民】おくやみに関する手続きの申請書の自動作成対象を順次拡大していく。

また、相談窓口で完結できる手続きの範囲も広がるよう、令和7年度末までに府内調査を行い、実施に向け調整を進める。

【梅田図書館跡地活用の方針性は

梅田地域の多様なニーズに応えるため、当該跡地を子どもの第三の居場所や多世代交流機能をもつ複合拠点として整備する可能性について、区の考えを伺う。

【質産活用】梅田八丁目複合施設の進捗を注視しつつ、周辺の公共施設再配置を考慮して検討

が、議会や地域の意見を聴きながら、子どもの居場所や多世代拠点の整備も視野に進める。

の現状、今後の方向性をどうのよ

うな形で示すのか。

④最後に、子どもの安全に対する区の体質そのものが問われている問題とし、抜本的な見直しに踏み出す考えはあるのか伺う。

【地域】①捜査に支障が出ない

よう、区から発信は控えていた。

②指摘のとおり受け止めており、

早期に情報発信すべきであった。

③事実関係については、被害者の意向を最優先にしつつ、被害者から承諾された範囲の情報を区ホームページで公表する。

安全対策の現状や改善の方向性については、実態調査や相談窓口設置に向けた準備が整い次第、区ホームページで公表する。

④同様の事案が一度と繰り返されないよう、区として必要な対策を講じ、情報発信していかなければならぬと考えている。

【問】共働き家庭の「小」の壁

問題解消に向けて、学校の開門時間を早め、用務員等による児童の見守りが検討されている。

外部人材の任用については、審査基準を統一し、子ども性暴力防止法の趣旨を先取りする方針があるのか、区の見解を伺う。

【教育指導】制度の指針となるガイドラインが示され次第、子どもの心身を守る規定を整備する等、安全基準の統一を進める。

【問】子どもの未来を築く情緒学級を

別支援教室を整備し、情緒面で支援を要する子どもを支えてきたが、定員超となる学校もあり、待機が生じている。

①情緒学級の設置を含む体制見直しのスケジュールを伺う。

【教育指導】①令和8年2月以降、特別支援教育検討委員会を

定期開催し、様々な意見を聴きながら自閉症・情緒障害特別支援学級の設置を含む体制見直しト出席制度は、活用が不十分である。学校間で差が生じないよう申請・認定フローの標準化を進め、保護者や児童・生徒への周知を徹底すべきではないか。

【教育指導】運用の標準化により上げるなど、設置可否の判断材料としていく。

【問】おくやみ手続きの負担軽減を

死亡時手続きの負担軽減のため、書かない窓口「ゆびナビ。ぶらす」で自動作成の対象を拡大し、おくやみ相談窓口で申請書作成手続きが完結できる範囲を広げるべきと思うがどうか。

【区長】「やりたいことが叶うまち」の実現に向け、区民の「やりたい」に寄り添い、活動を支援する立場は変わりない。

【区民】おくやみに関する手続きの申請書の自動作成対象を順次拡大していく。

また、相談窓口で完結できる手続きの範囲も広がるよう、令和7年度末までに府内調査を行い、実施に向け調整を進める。

【梅田図書館跡地活用の方針性は

梅田地域の多様なニーズに応えるため、当該跡地を子どもの第三の居場所や多世代交流機能をもつ複合拠点として整備する可能性について、区の考えを伺う。

【質産活用】梅田八丁目複合施設の進捗を注視しつつ、周辺の公共施設再配置を考慮して検討

が、議会や地域の意見を聴きながら、子どもの居場所や多世代拠点の整備も視野に進める。

の現状、今後の方向性をどうのよ

うな形で示すのか。

④最後に、子どもの安全に対する区の体質そのものが問われている問題とし、抜本的な見直しに踏み出す考えはあるのか伺う。

【地域】①捜査に支障が出ない

よう、区から発信は控えていた。

②指摘のとおり受け止めており、

早期に情報発信すべきであった。

③事実関係については、被害者の意向を最優先にしつつ、被害者から承諾された範囲の情報を区ホームページで公表する。

安全対策の現状や改善の方向性については、実態調査や相談窓口設置に向けた準備が整い次第、区ホームページで公表する。

④同様の事案が一度と繰り返されないよう、区として必要な対策を講じ、情報発信していかなければならぬと考えている。

【問】共働き家庭の「小」の壁

問題解消に向けて、学校の開門時間を早め、用務員等による児童の見守りが検討されている。

外部人材の任用については、審査基準を統一し、子ども性暴力防止法の趣旨を先取りする方針があるのか、区の見解を伺う。

【教育指導】制度の指針となるガイドラインが示され次第、子どもの心身を守る規定を整備する等、安全基準の統一を進める。

【問】子どもの未来を築く情緒学級を

別支援教室を整備し、情緒面で支援を要する子どもを支えてきたが、定員超となる学校もあり、待機が生じている。

①情緒学級の設置を含む体制見直しのスケジュールを伺う。

【教育指導】①令和8年2月以降、特別支援教育検討委員会を

定期開催し、様々な意見を聴きながら自閉症・情緒障害特別支援学級の設置を含む体制見直しト出席制度は、活用が不十分である。学校間で差が生じないよう申請・認定フローの標準化を進め、保護者や児童・生徒への周知を徹底すべきではないか。

【教育指導】運用の標準化により上げるなど、設置可否の判断材料としていく。

【問】おくやみ手続きの負担軽減を

死亡時手続きの負担軽減のため、書かない窓口「ゆびナビ。ぶらす」で自動作成の対象を拡大し、おくやみ相談窓口で申請書作成手続きが完結できる範囲を広げるべきと思うがどうか。

【区長】「やりたいことが叶うまち」の実現に向け、区民の「やりたい」に寄り添い、活動を支援する立場は変わりない。

【区民】おくやみに関する手続きの申請書の自動作成対象を順次拡大していく。

また、相談窓口で完結できる手続きの範囲も広がるよう、令和7年度末までに府内調査を行い、実施に向け調整を進める。

【梅田図書館跡地活用の方針性は

梅田地域の多様なニーズに応えるため、当該跡地を子どもの第三の居場所や多世代交流機能をもつ複合拠点として整備する可能性について、区の考えを伺う。

【質産活用】梅田八丁目複合施設の進捗を注視しつつ、周辺の公共施設再配置を考慮して検討

が、議会や地域の意見を聴きながら、